

かつらお

2025
No.534

12

目次

- かつらお恵みの感謝祭 P2 ~ 3
- 人事行政の運営等の状況について P4 ~ 5
- お知らせ P6 ~ 12
- むらの話題 P13
- 教育委員会だより P14
- イベントカレンダー P15
- アメリカ修学旅行に参加して P16

「かつらお恵みの感謝祭」では、ビートマッカスペシャルなど毎年感謝祭を盛り上げてくださる出演者のステージを始め、アイドルグループ「けっぱって東北」や子どもたちに人気のパンマンショーンなど、どのステージも観覧席はたくさんの人で賑わいました。また、今年のトリを飾った演歌歌手の田川寿美さんのステージでは、田川さんがヒットナンバーを歌いながら客席を握手して回るなど、たくさんの方サービスに皆さん大満足の様子でした。



▲君の椅子贈呈式

その年に生まれた子どもたちに、世界に一つだけの椅子が贈られます。



▲東北出身のアイドルユニット「けっぱって東北」キラキラのアイドルソングで会場を盛り上げていたきました。



▲感謝祭のトリを努めていただいた田川寿美さん素晴らしい歌声と笑顔で観客を沸かせ、感謝祭を素敵な思い出にしてくださいました。



感謝祭の名物「おおなべ豚汁」

豚汁の完成を待つお客様で長蛇の列ができ、約 1,500 食が来場者に振る舞われました。

祝 第20周年 かつらお恵みの感謝祭

「かつらお恵みの感謝祭」名物のひとつ、葛尾そば石臼の会による手打ちそば。毎年大好評の葛尾そばは、前売り券・当日券の合計 400 食が即完売しました。



会場にはメッセージボードが設置され、来場者からたくさんのメッセージが寄せられました。



11月3日、みどりの里にて毎年恒例の「かつらお恵みの感謝祭」が催されました。来場者延べ 2,100 名が会場を訪れ、年に一度のお祭りを楽しみました。また、会場には村内を中心とした団体や事業所による、村の产品を使った葛尾グルメやおいしい料理、ゲームや体验のブース合わせて 37 ブースが出店され、感謝祭を盛り上げてくれました。秋晴れが広がる中、秋の恵みを楽しむ来場者で感謝祭は大いに賑わいました！

令和6年度 人事行政の

運営等の状況について

1 任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の採用状況(令和7年4月1日採用)

区分	採用者数
一般行政職	3人
資格免許職	0人
計	3人

(2) 職員の退職状況(令和6年度退職)

事由	退職者数	うち再任用
定年退職	0人	0人
勧奨退職	0人	0人
その他	3人	0人
計	3人	0人

※上記職員数には会計年度任用職員は含まれません。

(3) 4月1日現在の職員数

	男	女	計
令和6年4月1日現在	24人	11人	35人
令和7年4月1日現在	24人	11人	35人

※上記職員数には、村長、副村長、教育長及び会計年度任用職員は含まれません。

2 職員の人事評価の状況

人事評価の目的	人事評価制度は、職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力及び挙げた業績を公正に把握することで、職員の主体的な職務の遂行及びより高い能力を持った公務員の育成を行うとともに、能力・実績に基づく人事管理を行うことにより、組織全体の士気高揚を促し、公務能率の向上につなげ、最終的には住民サービス向上の土台をつくる事を目的としています。
評価の種類	能力評価：職務遂行するうえで発揮された能力を評価するもの 業績評価：目標管理の手法等により仕事の成果を評価するもの
対象職員	すべての一般職の職員を対象とします。再任用職員も含みます。
評価者等	一次評価者は直近上位の管理職、二次評価者は一次評価者の直近上位の管理職とし、最終評価者を村長としています。
評価期間	能力評価：前期 4月1日～9月30日 後期 10月1日～3月31日 業績評価：前期 4月1日～9月30日 後期 10月1日～3月31日
評価結果の活用	評価結果については、任用、給与、分限の基礎とするほか、職員の能力開発、人材育成及び適材適所の人事配置の基礎資料として活用しています。

3 給与の状況

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口	歳出額A	実質収支
令和6年度	1,273人	3,784,152千円	248,760千円
人件費B	人件費率B/A	前年度人件費率	
329,860千円	8.7%	6.0%	

(注)1 住民基本台帳人口は令和6年1月1日現在のもの。

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数A		
令和6年度	30人		
給与費			
給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B
112,414千円	26,964千円	47,109千円	186,487千円
一人当たり給与費 B/A			
6,216 千円			

(注)1 職員手当には退職手当を含まない。

4 勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間の状況(一般職の標準的なもの)

1週間の勤務時間	開始時刻	休憩時間	終了時刻	勤務時間の割振変更制度
38時間45分	午前8時30分	正午～午後1時	午後5時15分	あり

(2) 年次有給休暇の取得状況(令和6年)

年次有給休暇は、1年ごとに20日(中途採用者は別に規則で定める日数)付与されており、20日を越えない範囲内の残日数は、翌年に繰り越すことができることになっています。
1人当たりの平均取得日数は次のとおりです。

1人当たり平均取得日数	11.1日

(3) 病気休暇及び特別休暇の状況(令和6年4月1日現在)

種類	付与日数
病気休暇	負傷又は疾病の場合90日以内
産前産後休暇	出産の予定日前8週間以内(多胎妊娠の場合は14週間以内)、出産後8週間以内
配偶者の出産休暇	2日以内
育児参加休暇	5日以内
保育時間休暇	1日2回それぞれ30分以内
子の看護休暇	5日以内
短期介護休暇	なし
忌引休暇	配偶者の場合10日以内ほか
夏季休暇	5日以内(6月1日～10月31日までの期間内)
ボランティア休暇	5日以内
結婚休暇	連続する5日以内
選挙権等の権利行使のための休暇	必要と認められる期間
裁判員、証人等として官公署へ出頭するための休暇	必要と認められる期間
災害により滅失等した住居の復旧作業等を事由とする休暇	連続する7日以内(週休日等を含む)
災害・交通機関の事故等により出勤が著しく困難な場合を事由とする休暇	必要と認められる期間
災害時に退勤途上の身体の危険を回避を事由とする休暇	必要と認められる期間

(4) 介護休暇の取得状況(令和6年度)

介護休暇	男性職員	女性職員	計
	0人	0人	0人

5 休業に関する状況

育児休業等の取得状況(令和6年度)

	令和6年度中に新たに取得した職員		令和5年度以前からの継続取得者数
	育児休業取得者数	部分休業取得者数	
男性職員	1人	0人	0人
女性職員	0人	0人	1人
計	1人	0人	1人

8 退職管理の状況(令和6年度)

事由	件数
再就職者から依頼等を受けた場合の届出	0件

6 分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分の状況(令和6年度)

区分	降任	免職	休職	降給	計
勤務実績がよくない場合	0人	0人			0人
心身の故障の場合	0人	0人	0人		0人
職に必要な適格性を欠く場合	0人	0人			0人
職制等の改廃等により過員等を生じた場合	0人	0人			0人
刑事事件に関し起訴された場合			0人		0人
条例に定める事由による場合			0人	0人	0人
計	0人	0人	0人	0人	0人

(2) 懲戒処分の状況(令和6年度)

区分	戒告	減給	停職	免職	計
法令違反	0人	0人	0人	0人	0人
職務上の義務違反又は怠慢	0人	0人	0人	0人	0人
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行	0人	0人	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人	0人	0人

7 服務の状況(令和6年度)

営利企業等従事許可の状況

事由	件数

<tbl_r cells="2" ix="1" maxcspan="1" maxr

ごみステーションは、地域住民専用のため 事業者のごみは出せません

ごみステーションに事業者のものと思われるごみが多く、ごみステーションを管理している住民の方々の迷惑となっており、多数の苦情が寄せられています。

事業系ごみの排出方法について、いま一度ご確認のうえ、適切な処理を徹底してください。

【事業系ごみの排出について】

事業系ごみは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、「事業主自らの責任において適切に処理しなければならない」と定められています。

ごみステーションに事業系ごみを排出した場合も、ポイ捨てや道端に捨てる行為と同じように不法投棄となります。

必ず、南部衛生センターに直接持ち込むか、許可業者に収集を依頼し、適正に処理をしてください。

また、近隣市町村の方が通勤途中に居住地以外のごみステーションに生活ごみを捨てているという声も聞かれています。

このような行為も不法投棄となり、処罰の対象となる恐れがあります。

居住地の決められた場所への排出を、従業員の皆様へ周知をしていただくようお願いいたします。

不法投棄は、5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金（法人の場合は3億円以下の罰金）、あるいはその両方が科せられます。

問 住民生活係 ☎ 0240-29-2112

福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

行くしかない!! 働きたいネットの就職面接会

【参加無料・履歴書不要・服装自由】

短時間でたくさんの企業の情報収集ができる♪就活が一歩前進！

★雇用保険受給者の方へ 本面接会は「求職活動実績」になります。参加証明書を発行します。

- 日 時 12月 19日（金）13:30～15:00
- 会 場 浪江町地域スポーツセンター（双葉郡浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2）
- 参加企業 相双地域等の企業 28社（企業の詳細はホームページをご覧ください）
- 参加方法 電話、ホームページから予約、または当日参加。TEL:024-524-2121
予約をオススメしております。詳細は「働きたいネット」で検索！



高校生と保護者のみなさまへ 「高校生就職応援ナビ」

【公式LINE 友だち募集中！】

◆ “福島で働きたい” 高校生必見！

就職の準備に役立つ情報を届けます！魅力的な企業の情報が満載！掲載企業を拡大中！

■ 「高校生就職応援ナビ」で何が分かるの？

どんな企業なのか・どんな仕事なのか・職場の雰囲気・先輩社員の声など

最新情報を見てみよう !! 登録はこちから▶



●問合せ 福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口

福島市中町 4-20 エスケー中町ビル 202号

☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125

ホームページはこちら



降雪期間における除雪作業について

除雪作業を12月から翌年3月まで実施します。冬期間の除雪について、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

○道路の除雪

(1)除雪箇所

通行止め規制のある路線を除く村内の道路

（通行止め期間は令和7年12月1日（月）から令和8年3月31日（火）までです。）

(2)除雪基準および時期

①15cm以上の路上積雪があった場合に除雪し、圧雪層厚を10cm以下にすることを原則とします。

②除雪は天候条件の良い日中に実施し、夜間は実施しません。

※除雪は積雪の状況によっては遅れる場合があります。

③夕方から朝方に積雪が見込まれる場合は、早朝に除雪を実施します。

○道路の管理

・通行止め路線

無人家等の路線を通行止めにします。

（浜井場北平線・梨木平登館線・野川風越線・静田和線・坊筐線・菅ノ又夏湯線・林業専用道大筐線）

※葛尾村内の通行止め路線は下の図をご覧ください。



問 地域振興課 地域整備係 ☎ 0240-29-2113

休日及び時間外のマイナンバーカード申請受付

マイナンバーカードの申請や交付、電子証明書の有効期限更新などの受付は月に2回、休日と木曜日の時間外にも行っています。予約制となりますので、希望される方は必ず住民生活係へお電話にてご予約のうえ、役場窓口までお越しください。

今月の受付日は

時間外 12月18日(木)午後5時15分～午後6時

※予約の受付は12月12日(金)まで

休日 12月14日(日)午前9時～午後4時

※予約の受付は12月8日(月)まで

平日時間内においてになれない方は、ぜひご利用ください。

問 住民生活係 ☎ 0240-29-2112



第3回観光ワークショップへの参加者募集のご案内

村では、昨年度策定した「葛尾村観光戦略プラン」を推し進めるため、本年度も観光に関する知識やノウハウ等を学ぶためのワークショップ（勉強会）を開催しています。第3回となる今回は、先進地域における観光組織のご担当者から、観光組織の運営に関する取組を直接伺います。観光に興味のある方のご参加をお待ちしております。

【開催概要】第3回 「当事者に直接伺う、先進地域における観光組織の取り組みについて」

観光への取り組みに当たっては、地域一体となった取り組みが重要であり、観光組織の活用が必要になります。

今回のセミナーでは、こうした全国の先進事例を参考に、観光組織の役割や地域連携のあり方を学び、今後の葛尾村の観光の可能性と一緒に考えます。

●対象者 村内事業者や村民で観光に興味のある方

●会場 復興交流館あぜりあ（オンライン形式での参加も可能です）

●日時 12月18日（木）17:00～19:00

●登壇者 ①一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構 河本直起氏

②一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会 青田真樹氏

【お申し込み方法】

次のいずれかでお申し込みください

①申込フォームへのご登録

(URL : https://globaleysurvey.ey.com/jfe/form/SV_e3b0hZebW0vVuC2)



②メール：事務局 Koki.Sakai@jp.ey.com

③お電話：事務局 080-5512-6117

●申込期限 12月16日（火）

●問い合わせ先

葛尾村地域振興課内 ワークショップ事務局 (EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 坂井)

Mail : Koki.Sakai@jp.ey.com TEL : 080-5512-6117



消防署からのお知らせ



マイナ救急実証事業実施中

マイナ救急ではマイナンバーカードの健康保険証利用により、救急隊員が出動先でマイナ保険証を読み取り、過去の受診歴や処方された薬等の医療情報を把握することで、迅速な病院選定や病院での早期治療開始に繋げることが期待できることから、令和7年10月から実証事業を開始しました。

※本実証は総務省消防庁が全国の消防本部と連携して実施するものです。



※マイナ保険証の不所持または本人不同意の場合は通常通りの救急業務を行います

冬のヒートショックに注意！

ヒートショックは、周囲の急激な温度の変化により、血圧が上下に大きく変動することなどが原因で起こります。浴室や脱衣所を暖めたり、飲酒後の入浴はさけるなどヒートショックを予防し、入浴する前に家族に一声かけ、様子を気にかけてもらいましょう。



火事と救急は 119番

《消 防 署 連 絡 先》
 ◇富岡消防署 0240-22-2119
 ◇楳葉分署 0240-25-2119
 ◇川内出張所 0240-38-2119
 ◇浪江消防署 0240-34-4111
 ◇葛尾出張所 0240-29-2119

むらの話題

総合優勝は、松本佳奈子さん ～村民グラウンドゴルフ、議長杯グラウンドゴルフ～

10月24日、第29回村民グラウンドゴルフ大会・第4回議長杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。24名の参加者が優勝を目指してプレーしました。大会結果は次のとおりです。

<大会結果>

○男子の部

- ①吉田勝一 ②白岩壽喜 ③大山 晃
- ④杉本宜信 ⑤吉田義則 ⑥大澤義伸

○女子の部

- ①松本佳奈子（総合優勝） ②大山加代子
- ③松本利子 ④齋藤ヒメ子 ⑥松本ともい



総合優勝した松本佳奈子さん（中央）

火の用心!! ～秋の全国火災予防運動 防火パレード～

11月6日、秋の全国火災予防運動の一環として、葛尾幼稚園の園児による防火パレードが行われました。園児たちはおそろいの法被と鉢巻きで、「火の用心」のかけ声と共に拍子木を鳴らしながら村内を歩き、火災予防を呼びかけました。

秋から冬にかけては、空気の乾燥や暖房器具の使用が増えることから、火災が起きやすくなる季節です。お出かけ前や寝る前に火の元を確認するなど、一人一人が火災予防の意識をしっかりと持ち、火災を起こさないように注意をしましょう！



戸籍の窓口

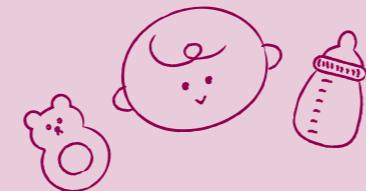
(令和7年10月15日～令和7年11月14日届出分)

♡ ご結婚おめでとうございます ♡

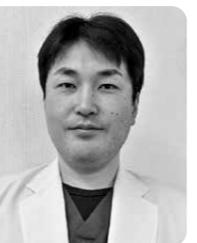
【新郎・新婦】松本翔平・あみ 【届出月】令和7年10月 【行政区】大笠・埼玉県

♡ こにちは赤ちゃん ♡

【子どもの名】佐々木楓奈ちゃん	【子どもの名】丹伊田玄奈ちゃん
【誕生月】令和7年10月	【誕生月】令和7年10月
【保護者】和仁・真渚美	【保護者】拓真・里早
【行政区】上葛尾	【行政区】下葛尾



坪倉先生のいきいき健康ナビ No.76



坪倉正治先生

福島県立医科大学 医学部
放射線健康管理学講座主任教授

先日の村の会議で、葛尾にも熊は目撃されているけれど、人前にはあまり出てこない、という話をお聞きしました。今年は例年以上に全国で熊が出没し、私たちの生活もだいぶ脅かされているといつても過言ではないでしょう。自然と共に暮らすということは、リスクと隣り合わせなだと気づかれます。熊が冬を迎えて行動を変えるように、私たちの暮らしもまた、季節とともに少しずつ変わっていきます。

12月の葛尾は、昼夜の寒暖差が大きく、朝晩は氷点近くまで冷え込みますね。寒さは血圧を上げ、体の動きを鈍らせます。転倒や体調不良を防ぐため、屋外では温かい服装と早めの帰宅を、屋内では軽い体操や温かい飲み物を心がけましょう。熊の出没は減る時期ですが、山道や森を歩くときは、鈴や声かけなど、

油断しない工夫も大切です。

また、この時期はインフルエンザの流行にも注意が必要です。県内ではすでに警報レベルの報告が続いている、12月は本格的な流行期になります。乾燥した空気や暖房での温度差は、感染の広がりを助長します。室内では加湿を心がけ、湿度は40～60%程度を保つと効果的です。こまめな手洗い、うがい、十分な休養と栄養をとりましょう。体調がすぐれないときは、早めに医療機関へ相談することも大切です。

冬を元気に過ごすためには、備えとつながりが欠かせません。防寒や転倒対策に加えて、部屋の照明や加湿、見守りの声かけなど、日々の小さな工夫が安心につながります。寒い時期こそ、地域の居場所や体操教室を活用して、人とのつながりを保ちましょう。

熊が人の領域に踏み込みすぎるのは、自然のマナーを守っているからかもしれません。私たちもまた、冬の暮らしの中で、お互いを思いやり、声をかけ合うことが、地域で生きる力になりますね。どうぞ暖かくして冬をお過ごしください。（文責：坪倉、伊東）

ふるさと納税

次の方々からご寄付をいただきました。

◆お名前

菅野 光彦 様(福島県) 菊地 美博 様(茨城県) 藤井 亮輔 様(東京都) 藤原 健次 様(東京都)
上記含め16名

寄付総額 357,000円 (令和7年10月分)

寄付金は、観光・農林業・商工業の振興や教育・文化の振興等、寄付者の申し出に合わせた事業等に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。葛尾村では、ふるさと寄付金（ふるさと納税）の返礼品（地場産品）を募集しています。詳細は担当までお問い合わせください。

問 総務企画係 ☎ 0240-29-2111

お知らせ

今月の行事（令和7年12月）

※事情により、中止となる場合があります。

4日(木) パッチワーク教室（三春）・剣道教室	14日(日) かつらお公民館まつり	21日(日) 剣道練成大会
10日(水) パッチワーク教室（葛尾）	18日(木) パッチワーク教室（三春）・剣道教室	24日(水) パッチワーク教室（葛尾）
11日(木) 剣道教室	20日(土) 料理教室④（そば打ち）	25日(木) 剣道教室

葛尾村診療所

受付時間：午後1時30分～
午後5時
診療：午後2時～午後5時
診療科目：内科・小児科
0240-29-2036
※予防接種を希望の方は、あらかじめご予約をお願いします。
予約時間：午前11時～午後5時

3日(水)矢吹 康先生(矢吹医院) *1
10日(水)雷 肇先生(雷クリニック)
17日(水)相馬 俊介先生
(福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療センター)
24日(水)雷 肇先生(雷クリニック)
31日(水)休 診
*1 12月3日は乳幼児健診のため、診療開始予定が午後3時からとなります。

注意事項 ※発熱等の症状がある場合は、受診前にご連絡ください。また、受診の際はお薬手帳をお持ちください。

葛尾歯科診療所

受付時間：午前9時00分～午前11時30分
午後1時30分～午後 5時30分
診療日：毎週火・水・木曜日(祝日除く)
0240-29-2110
※院内感染予防の観点から事前にご予約ください。

人の動き

令和7年11月1日
現在(外国人含む)

- 男 性 638人 (+ 2)
- 女 性 589人 (+ 2)
- 合 計 1,227人 (+ 4)
- 世帯数 479世帯 (+ 2)



今月の納期限

固定資産税	4期
国民健康保険税	6期
納 期 限	12月25日(木)

避難先をお知らせください

避難先住所を移動された方は、変更があった日から14日以内に、住民生活課窓口に届出をしてください。

0240-29-2112

今月のお医者さん

(田村地区) 診療時間
市外局番：0247 午前9時～午後6時

12月 7日	南東北病院滝根診療所	滝根町	0242-78-2442
12月 14日	さとう耳鼻咽喉科クリニック	船引町	0242-81-1333
12月 21日	のざわ内科クリニック	三春町	0242-61-1500
12月 28日	清水医院	船引町	0242-82-3535
12月 29日	石塚医院	小野町	0242-72-2161
12月 30日	白岩医院	常葉町	0242-77-2036
12月 31日	たむら市民病院	船引町	0242-82-1117

※受診の際は、健康保険証を持参してください。

※当番医、診療時間等変更になることがあります。あらかじめ電話等でご確認ください。

福島県医師会 <http://www.fukushima.med.or.jp/>

田村医師会 <https://www.tma.or.jp/>

〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字品ノ木 123

葛尾村の避難状況について

令和7年11月1日現在(外国人含む)(人)

帰村	302
避難指示解除後の転入	村内居住 171
	村外居住 22
	計 193
避難	県内 697
	県外 35
	計 732
計	1,227

葛尾村役場

〒979-1602
福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合16

総務課	0240-29-2111
復興推進室	0240-23-5200
住民生活課	0240-29-2112
地域振興課	0240-29-2113
議会事務局	0240-29-2160
教育委員会	0240-29-2170
公民館	0240-29-2008

FAX **0240-29-2123**

第3回

ふれ愛 給食試食会

&花いっぱい運動



11月7日、葛尾小学校でふれ愛給食試食会を実施しました。

子どもたちとのふれあいを楽しみに参加された方、村の移住事業「アーティストインレジデンス」で村に滞在しているアーティストの方々、保護者など、22名の方々に参加していただき、葛尾産の新米やハーブ鶏、野菜や凍み餅など地場産品をふんだんに使用した献立を味わいながら、和やかな雰囲気で会話を弾み、笑顔あふれる会となりました。

ふれ愛給食の後は、校庭で花植えを行い、花壇やプランターが赤・紫・黄色のパンジーで彩されました。



ようちえんまつり

葛尾幼稚園



11月7日、ようちえんまつりを開催しました。地域の方々にも呼びかけ、一緒に縁日ごっこを楽しみました。

後半は、保護者による縁日で、エビすくいとチョコバナナを楽しみ、思い出に残る一日となりました。



自然散策会



村民グランドで記念撮影

10月24日、震災後初めての村内での自然散策を行いました。幼稚園から屋内ゲートボール場まで歩き、どんぐりや松ぼっくりを拾いました。地域の方々も参加し、交流を深めながら気持ちの良い秋空の元、散策を楽しみました。

教育委員会だより

第104号

アメリカ修学旅行に参加して



葛尾村では、少人数ならではの、少人数を最大限に生かした様々な特色ある教育を行っています。幼稚園から中学校までの12年一貫教育の中で、日本語の対話と英語の対話に力を入れ、対話をとおして広い視野を持ち、他者と関わりながら共に成長できる人材の育成を図っています。この幼小中を通じて紡いできた対話的な学びの集大成として、中学校では海外修学旅行を実施し、異国の文化や英語を体感し、実践的な英語の対話力向上とスキルを身につけることを目指しています。

今年は、公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター主催の「第32回日米草の根交流サミット2025サンフランシスコ・ベイエリア大会」に、6月6日～12日、生徒3名・引率3名の計6名が参加してきました。

参加生徒の声

杉本 蒼さん（中学3年）

修学旅行に行く前は、初めての海外旅行にとても不安がありました。しかし、ホストファミリーが温かく、優しく迎え入れてくれて安心しました。英語での会話もなんとか1人で話したり、ホストファミリーが私の話を理解してくれようとしてくれたりしたので会話を楽しめました。ホストファミリーやその友達と会話や食事などで異文化交流ができるとてもよいホームステイになりました。また、今回の修学旅行では、海外で活動している方とお話しできたことも思い出に残っています。その人たちに大変なことや楽しいことは何かなどたくさんお話を聞きました。その中でも「人は財産」という言葉が特に心に残っています。今回、修学旅行で海外に行ってこのような体験をしたことで、私の夢が少し近くに見えてきました。この体験を上手に使っていきたいです。

山崎 陽向さん（中学3年）

私は今回、初めての海外で行く前はとても不安でした。しかし着くと日本とは違ったところも空港で発見することができ、胸が高鳴ってきました。サニーベイル中学校さんとの交流はこの旅行で一番不安だった行事で、きちんと話せるか、発表は大丈夫かとずっと不安でしたが、生徒のみなさんも優しく私達を迎えてくださり不安も少しずつなくなっていました。発表の際も真剣に聞いてくれて、葛尾のことを知ってもらえて良かったです。ホームステイはホストファミリーの方がスタンフォード大学やビーチに連れて行って下さいました。歴史や日本との違いを感じながら楽しむことができました。また一緒に風鈴作りをした際には、日本の文化を説明しながら実際に作りました。ホストファミリーもすごく喜んでくださいました。サンフランシスコに行き、このような貴重な体験をさせていただいて英会話に自信が持てるようになりもっと日本以外の世界の人達とも交流したい、話してみたいという気持ちも出てきました。そしてこれからは英語の勉強に今までよりも力を入れ、将来は海外で仕事ができたらと思いました。

松本 功記さん（中学2年）

ホームステイをすることも海外に行くのも初めてだったので「英語でちゃんと話せるかな」とか「忘れ物してないかな」などの不安が9割でしたが、ホストファミリーの皆さんが高い笑顔で接してくださったので、楽しむことができました。また、ホストファミリーの皆さんに有名な観光スポットなど様々な場所に連れて行っていただきました。特にゴールデンゲートブリッジでは、見知らぬ人が「写真撮ろうか?」と話しかけてくれて、「みんな気さくで優しいんだなあ」と思いました。カリフォルニア大学バークレー校の見学では、沢山の昆虫の標本を見ることができました。特に心に残ったのは「アンフリサスキシアゲハ」という蝶の標本です。以前から本で読んで知っていたのですが、ここで出会うことができ、とても感動しました。サニーベイル中学校では、葛尾についてプレゼンをしました。緊張のあまり何力所も間違えてしまましたが、生徒達は僕の間違いなんて気にしないで、最後まで静かに話を聞いてくれたので、安心して話すことができました。楽しむことはもちろんですが、アメリカと日本の様々な違いについて学ぶことができたので、非常に実りのある修学旅行になったと思います。英語に関しては、サニーベイル中学校の生徒やホストファミリーの方々と実際に対話をすることを通じて、修学旅行に行く前よりも自信を持つことができました。

